



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
（奈良県保健環境研究センター内）



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 流行感染症情報：インフルエンザ NEW
- 奈良県結核患者情報（平成 25 年 2 月） NEW



（調査週）平成 25 年 第 11 週 3 月 11 日（月）～3 月 17 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	7.71	→～↑	→	↑	→～↑
2	インフルエンザ	7.15	→～↓	↓	→～↓	↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	0.86	→	→	→	↑
4	水痘	0.74	→	→～↑	→	↓
5	RS ウイルス感染症	0.51	→	→～↑	↓	↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は335例で、前週報告の423例から減少。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③A群溶連菌咽頭炎、④水痘、⑤RSウイルス感染症の順で、感染性胃腸炎がインフルエンザに替わって第1位となった。感染性胃腸炎の報告数(120例)は、やや増加。水痘の報告数(13例)も、やや増加。RSウイルス感染症の報告数(7例)も、やや増加。インフルエンザの報告数(264→172例)は、減少。A群溶連菌咽頭炎の報告数(14例)は、やや減少。また、インフルエンザ定点からの報告は、奈良市HC管内；45例、郡山HC管内；127例の計172例、定点当たりの報告数が6.37だった。奈良市HCおよび郡山HC両管内基幹定点と眼科定点からの報告は、すべてなかった。

（村井 記）

県中部地区概況 報告数は、384 例から 372 例と減少した。上位 5 疾患は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、A 群溶連菌咽頭炎、水痘、突発性発疹の順であった。感染性胃腸炎は、108 例から 133 例(定点報告数・9.50 人)と増加傾向である。インフルエンザは、226 例から 204 例(定点報告数・9.27 人)と減少傾向であり、注意報の域は、脱した。基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎 1 例(5~9 歳)の報告が、葛城保健所よりあった。眼科定点からの報告はなかった。

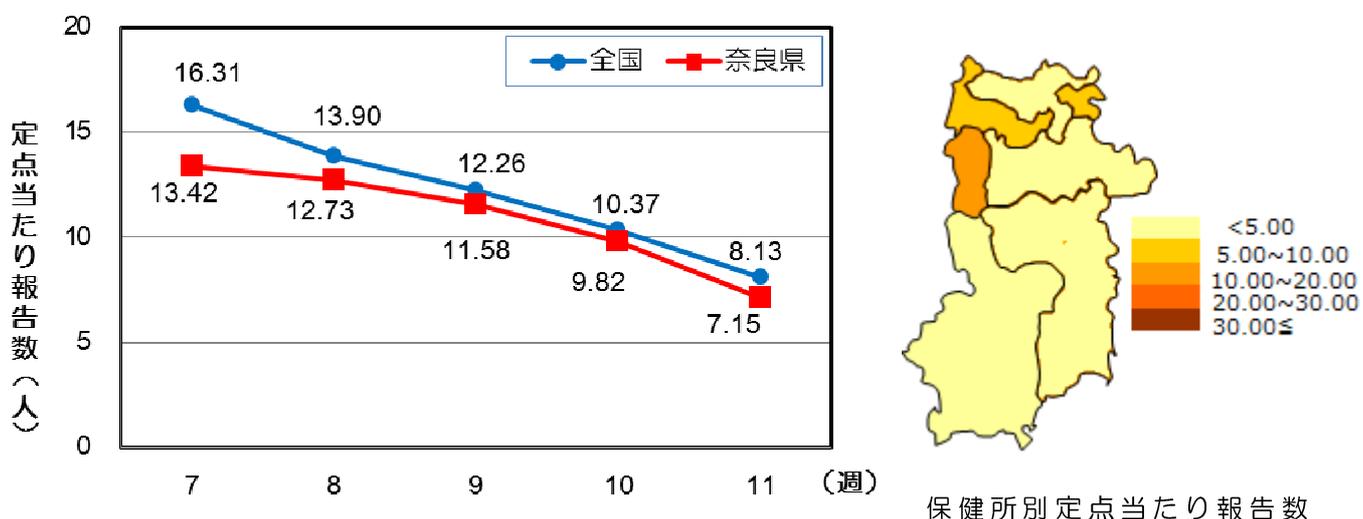
(高木 記)

県南部地区概況 報告数(第 10 週→第 11 週)は 77 例→51 例と減少。報告のあった疾患は、①インフルエンザ(50 例→17 例)、①感染性胃腸炎(13 例→17 例)、③RS ウイルス感染症(8 例→9 例)、④A 群溶連菌咽頭炎(2 例→3 例)、⑤突発性発疹(1 例→2 例)、⑥咽頭結膜熱(1 例→1 例)、⑥水痘(1 例→1 例)、⑥流行性角結膜炎【眼科定点】(0 例→1 例)であった。

(柳生 記)

《流行感染症情報：インフルエンザ》

インフルエンザの定点当たり報告数は、奈良県全体では 9.82 から 7.15 へと、減少しました。全国値も 8.13 と、減少が続いています。



なお、奈良県全体での定点当たり報告数が 5 週以上連続で減少していますので、《流行感染症情報：インフルエンザ》は、今回で掲載を終わらせて頂きます。

【奈良県結核患者情報】

奈良県感染症情報センターでは結核患者発生動向情報を提供しています。
今回は2月の新規届出状況をお知らせします。

表. 結核届出数 (平成25年1月～)

市町村	2月	総計	
北部	奈良市	8	11
	大和郡山市	3	7
	天理市	2	3
	生駒市	2	4
	山添村		
	平群町	1	1
	三郷町		1
	斑鳩町		
	安堵町		
中部	大和高田市	3	4
	御所市	1	1
	香芝市	1	1
	葛城市	1	1
	上牧町		
	王寺町		
	広陵町	2	2
	河合町	1	2
	橿原市	3	4
	桜井市	1	2
	宇陀市		1
	川西町	1	1
	三宅町		
	田原本町		
	曽爾村		
	御杖村		
高取町			
明日香村			
南部	吉野町	1	1
	大淀町	1	2
	下市町		
	黒滝村		
	天川村		
	下北山村		
	上北山村		
	川上村		
	東吉野村		
	五條市		
	野迫川村		
十津川村			
合計	32	49	

(3月18日現在)

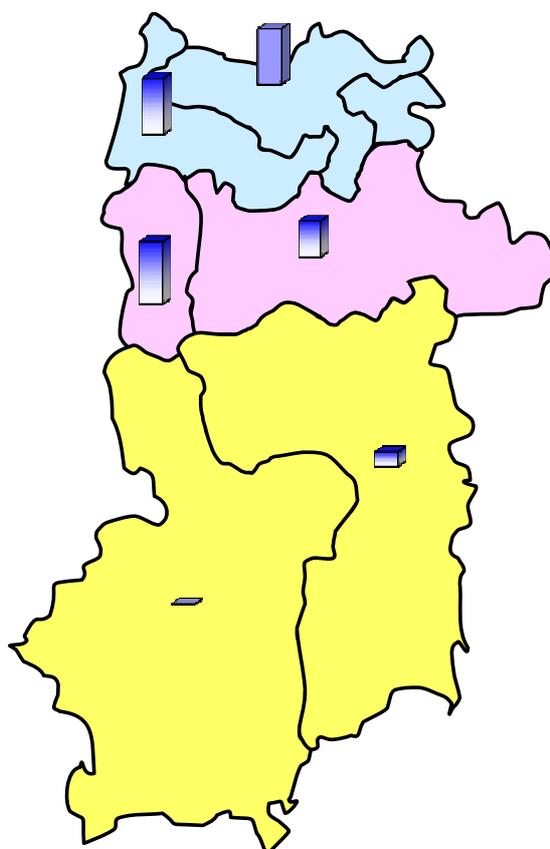


図. 保健所別届出数 (平成25年2月受理分)

(感染症情報センター 記)

感染症情報センターホームページアドレス

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>